

普及活動情勢報告（令和6年4月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

ユズ苗の定植に向けて ～高知市土佐山柚子生産組合現地検討会～



現地検討会の様子

4月2日、高知市土佐山柚子生産組合のユズ苗の配布日に合わせて、植付け研修会が開催され、生産者4名が参加しました。

普及所からは、準備や定植方法、定植後の管理の説明を、実際に苗を植えながら行いました。生産者からは、「根を乾かさないことが重要とわかった」「定植後に使う農薬は何が良いか」などの意見や質問があり、関心の高さがうかがえました。

今後も普及所は、JA、市と連携し、老木からの改植により、産地の生産力向上に向けて取り組んでいきます。

新品種の適性は？ ～水稻奨励品種決定現地調査～



田植えの様子

4月10日、高知市高須において、水稻奨励品種決定試験品種の‘高育82号’、対照品種の‘フクヒカリ’、その他に‘よさ恋美人’‘コシヒカリ’‘南国そだち’‘にじのきらめき’を普及所とJA高知市の職員が植え付けました。

今後は生育・収量調査を行い、試験の途中経過及び結果を現地検討会や研修会等で報告する予定です。

普及所は、今後も産地に適応した品種の選定と普及推進に取り組んでいきます。

ミョウガの栽培技術向上に向けて ～JA高知市ハウスミョウガ合同現地検討会～



研修会の様子

4月11日、JA高知市の大津支所大津園芸部みょうが部会と土佐山支所園芸部ハウス茗荷生産組合の合同現地検討会及び研修会が開催され、生産者18名が参加しました。

普及所からは、現在取り組んでいる試験の概要説明と環境データの活用方法について指導をしました。

参加者は、視察ほ場の栽培方法について熱心に園主に質問をしたり、現在の生育状態について生産者同士で意見が交わされるなど、栽培技術向上に向けた意識の高さがうかがえました。

普及所は今後もJAと連携し、産地の生産力向上に向けて支援していきます。

新たなメンバーで新規就農者を支援
～ J A 高知県春野新規就農者支援チーム会～



チーム会の様子

4月17日、J A 高知県春野営農経済センターで新規就農者支援チーム会が開催され、J A、高知市春野地域振興課など関係機関から17名が参加しました。

チーム会では今年度の活動計画を協議し、就農相談の状況について共有するとともに、関係機関で連携して新規就農者を支援していくことを確認しました。

普及所からは指導農業士との意見交換を提案し、8月の実施を目指すことになりました。

今後も普及所は関係機関と連携し、新規就農者を支援していきます。